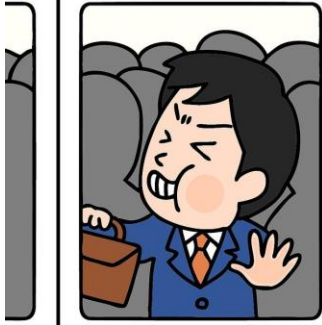


これは今後の日本をもっと良くする意味で、とてもいい実証実験になっていると感じます。

この騒動以降、ラッシュ時の山手線も立っている人がそこそこいる程度。もちろん、不要不急の外出が減ったこととテレワークのような通勤しない働き方をしているおかげです。

じゃあ、本気で通勤ラッシュを減らそうとしたらできるってことですね。もちろん今回は急なことだったので問題点も多く出ていると思いますが、本当の働き方改革の突破口になるのではと期待しています。

僕自身は秋に数回ある短大の講義が1限なので、その時だけラッシュに巻き込まれるのです



が、3駅なのに着いたらふらふらになります。これだけの労力を奪われるサラリーマンの方たちを救うだけで日本の活力になる気がします。

食事介助

特に高齢で、要介護の方で食事介助が必要な方がいます…と言うと、スプーンで口元に持っていく、お口の中に食べ物を入れることのように思っていました。先日、介護職の方と話をしていた、そうでないということとを教えてもらいました。ホームヘルパーさんの業務として「食事介助」というものが定義づけられているそうです。

声かけ・説明から始まり、安全確認やヘルパー自身の清潔動作、準備(利



用者の手洗い、排泄、エプロン・タオル・おしぼりなどの物品準備)をして食事場所の環境整備、食事姿

勢の確保してから配膳、メニュー・材料の説明をしてからやっと摂食介助。その後も服薬介助や安楽な姿勢の確保、気分の確認、食べこぼしの処理やヘルパー自身の清潔動作まで。かなり驚きました。ホームヘルパーさんは本当に食のプロフェッショナルだと思いました。

僕たち歯科も食べる機能やお口の環境を整える仕事で、食事のプロフェッショナルという自負があります。今後はホームヘルパーさんともしっかりと連携をとっていこうと思いました。